



CONTENTS

- \* フォーラム
- \* カモミール月曆
- \* サイエンス夢追い人育成プロジェクト
- \* ロールモデル講演会/リーダーシップ研修
- \* 研究倫理研修
- \* 保育園たより

文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」



## フォーラム

### 地域貢献型大学における女性研究者の活躍とAI研究力分析

日時：2018年11月2日（金）15：00 -17:00  
場所：岐阜大学 講堂

近年、様々な分野において「女性活躍」への関心が高まっており、女性研究者の活躍を目にする機会も増えています。また、AIやビッグデータに代表される情報通信技術の発達は、大都市と地方の情報格差を縮小させており、地方（ローカル）から世界水準（グローバル）の研究成果を発信することを可能にしています。

それでは、地方の女性研究者はいかにして世界水準の研究成果に向けて取り組んでいるのか、また、AIやビッグデータは研究者がさらなる研究水準の向上を目指すうえでどのように活用できるのか。

第1部では、エルゼビア社が2017年に発表した世界各国における研究者の男女別パフォーマンスの分析結果、およびAIを活用した岐阜大学を中心とする研究者の活動情報分析とその可能性について、膨大なデータ分析に基づいて報告します。

第2部のトークセッションでは、研究者を志す女子大学院生および様々な立場で活躍する女性研究者が登壇し、女性研究者が地方から世界水準の研究成果を生み出し発信するための方法、およびキャリア形成について語り合います。

〈第1部 報告〉

高石 雅人（エルゼビア・ジャパン株式会社 ソリューションコンサルタント）  
「世界の研究環境におけるジェンダー 女性研究者の割合増加と男性研究者と同等の影響力」  
利光 哲哉（岐阜大学研究推進・社会連携機構 特任講師）  
「AIの活用による岐阜大学研究力の可視化から向上への分析アプローチ」

〈第2部 トークセッション〉「岐阜で研究者としてのキャリアを構築する」

馬淵 法子（岐阜女子大学 大学院文化創造学研究所 修士課程2年）  
吉寺 響子（岐阜大学 連合獣医学研究科 博士課程1年）  
丸山 広恵（アピ株式会社 事業戦略室 次長）  
リム リーフ（岐阜大学 工学部 化学・生命工学科 教授）  
永澤 秀子（岐阜薬科大学 創薬化学大講座 教授）  
落合 絵美（岐阜大学 男女共同参画推進室 特任助教）※トークセッション司会

## カモミール月曆（室長からのメッセージ）

副学長（多様性人材活力推進担当） 林 正子

### 「かもみーる通信」創刊100号に寄せて

岐阜大学男女共同参画推進室ニューズレター「かもみーる通信」が2010年7月に創刊されてから、早くも8年を超える年月が経ちました。この度、**通算100号**を発行するにあたり、日頃、岐阜大学の男女共同参画推進、多様性人材活力推進の諸活動にさまざまなかたちでご支援、ご協力くださっている皆さまに、改めてお礼申し上げます。

2010年4月に男女共同参画推進室が設置されて以降、人材開発部職員育成課（旧・総務部人事労務課）の職員の皆さんとともに携わってきた活動の指針として、「**岐阜大学男女共同参画行動計画** <https://www1.gifu-u.ac.jp/~sankaku/outline/O2.html>」が挙げられます。全構成員を対象として、**男女共同参画の視点に立った教育・研究環境及び就業体制の確立、教育・研究及び就業と家庭生活との両立を図るための支援、女性研究者の支援及び育成の推進、教職員・学生への男女共同参画に関する啓発活動の推進、大学運営における意思決定への女性参画の推進、国・岐阜県・各市町村、企業等諸団体との連携の促進**に向けてのさまざまな取り組みや、構成員の皆さんにご利用いただける制度などについて、「かもみーる通信」を媒介として発信してきました。

当初の活動の基盤となったのが、「**多様性活力発揮に向けての女性研究者支援**」（文部科学省科学技術人材育成費による女性研究者研究活動支援事業 2010～2012年度）の取り組みです。事業終了後も、**研究補助員配置制度、人材バンク、メンター制度など、女性研究者が子育てや介護などのライフイベントと研究を両立できる環境を整備し、男性研究者にも適用するなど、発展的に運用してきました。**また、**女子大学院生による出前講義「サイエンス夢追い人育成プロジェクト」**も、岐阜県下の小・中・高等学校の生徒たちに身近なロールモデルを提供するとともに、院生にとっても研究活動へのモチベーションを高めるなどの成果を上げている状況について、「かもみーる通信」の多くの号でご紹介してきました。

2014年度には、「**多様性人材活力推進行動計画**」 <https://www.gifu-u.ac.jp/about/approach/diversity.html>」を策定して、**大学運営における多様性人材活力の推進、外国人構成員の支援と文化的多様性の促進、障がいのある構成員の支援、学生・教職員への多様性人材活力推進に関する啓発活動の推進、地域社会・国際社会との連携を通じた多様性人材活力推進**に向けて、全学的な取り組みの橋渡しに努めているところです。学長を議長とする「**多様性人材活用推進会議**」の報告の機会などに、「かもみーる通信」でも現状をご紹介し、直面する諸課題や方向性について構成員の皆さまに共有していただきました。

2015年度以降の紙面に頻出しているテーマが、岐阜薬科大学・岐阜女子大学・アピ株式会社との連携事業「**地域循環型女性研究者育成・支援プログラム**」（「**清流の国 輝くギフショ 支援プロジェクト**」）です。この文部科学省科学技術人材育成費補助事業「**ダイバーシティ研究環境イニシアティブ（連携型）**」（2015年度～2020年度）については、**女性研究者の研究環境整備、研究力向上、上位職登用**へのさまざまな課題に挑戦していることを、「**清流の国 輝くギフショ 支援プロジェクト通信**」（2016年3月～2018年3月 全9号） <https://www1.gifu-u.ac.jp/~kagayaku/data/> と併せて、「かもみーる通信」でもご紹介してきました。

男女共同参画推進室・人材開発部職員育成課が中心となつての取り組みは、女性研究者育成・支援事業に限定されません。性差・年齢・国籍・職掌などの違いを超えて、段階的に対象範囲を広げていくことで、構成員一人ひとりがその能力を遺憾なく発揮できる大学づくりをめざしています。シンボル花「カモミール」の花言葉のように、全構成員が「**親交**」し、「**逆境に負けない強さ**」を発揮して、数多くの課題とともに乗り越えてゆけるよう願っています。皆さまのご支援、ご協力、引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。

# サイエンス夢追い人育成プロジェクト

(女子大学院生による出前講義)

9月13日、岐阜大学において「長良高校1年生大学見学会」を開催しました。大学入試課による大学入試等の説明に続いて、3名の女子大学院生が大学生活、研究内容、受験対策や進路選択の経験などについて、362名の高校生を前に写真や動画を用いながら講義をおこないました。

高校生からは、「女子大学院生のお話を聞いて自分も研究したいと思った」「早く岐阜大学生になりたいと思った」など、進路選択において有意義な機会となったようです。



藤田 真由さん



永田 麻純さん



今井 美歩さん



平成30年度の「サイエンス夢追い人育成プロジェクト（女子大学院生による出前講義）」は、昨年度に引き続き本年度も岐阜県内の高校から数多くのご依頼を頂いた結果、8月末をもって平成30年度の受付を終了しました。平成31年度のご依頼の受付開始時期については、来年4月以降に男女共同参画推進室のホームページまたは「かもみーる通信」紙面にしてお知らせする予定です。

文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」



## ロールモデル講演会 / リーダーシップ研修

**ロールモデル講演会**

女性研究者・医療職として等身大で生きる  
～ワークライフバランス～

講師：錦織 淳美氏  
岡山大学病院薬剤部 薬剤師 / Pharm.D.

日時：平成30年10月9日(火) 13:00～14:30  
場所：岐阜薬科大学本部 第二講義室

岐阜薬科大学 | 岐阜女子大学 | フタバ株式会社

〒501-1196 岐阜県岐阜市1-25-4  
Tel: 058-230-8100  
e-mail: diversity@gifu-pu.ac.jp

**ロールモデル講演会**

日時：10月9日(火) 13:00～14:30  
場所：岐阜薬科大学本部 第二講義室

**リーダーシップ研修**

日時：10月26日(金) 16:00～17:30  
場所：岐阜薬科大学本部 大学院講義室

**リーダーシップ研修**

医薬品の価値を最大化するための  
バイオマーカー検討  
～多様なメンバーでシナジーを発揮するチームの導き方～

講師：田窪 亮子氏  
中外製薬株式会社  
トランスレーショナルリサーチ本部  
臨床薬理部 バイオマーカーリーダー

日時：2018年10月26日(金) 16:00～17:30  
会場：岐阜薬科大学本部 大学院講義室

岐阜薬科大学 | 岐阜女子大学 | フタバ株式会社

〒501-1196 岐阜県岐阜市1-25-4  
Tel: 058-230-8100  
e-mail: diversity@gifu-pu.ac.jp





## 研究倫理研修



9月19日（水）、文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」平成30年度研究倫理研修がアピ株式会社（岐阜市）にて開催されました。

「科学に携わる者のための倫理—技術者倫理教育の視点から—」と題した研修では、片倉啓雄 関西大学化学生命工学部教授が、技術者としての知識不足が引き起こした重大な事故事例について紹介しながら、特定の組織内の考え方は偏向性を有していること、そのなかで「逸脱」を許容することによって次第に「逸脱の標準化」が生じ、その積み重ねが重大な事故や不祥事につながると指摘しました。そのうえで、プロフェッショナル（技術者）はこのような逸脱を許容しない高い倫理意識が求められていることについて、過去の成功例と失敗例を取り上げながら具体的に説明されました。

研究不正が社会問題として大きく注目されている現在、技術者にとどまらずすべての研究者および学生が「組織の偏向性」や「逸脱」について敏感になり、改めて自らの行動をセルフチェックすることの重要性について認識を深める貴重な機会となりました。

## 保育園たより

つばめ



かもめ



すこやか

